

オフィス, 教育施設 / 公共施設 / 学校 / 美術館

Archive of the future

革新的な建築と伝統の融合



Starting Point

ドイツのリヒテンフェルスの広場に面した、The Archive of the Future（未来のアーカイブ）は伝統と革新が融合した建築でカフェ、オフィスなどが入っています。建築家のピーター・ハイメル氏は、5年の計画と建設を経て、ガラス張りの鉄骨造の建物に完成させました。高さ12メートル、亜鉛メッキ鋼で作られた金色の柳の彫刻は、この町の籐細工の伝統産業を思い起こさせます。ガラス張りのパビリオンには、オフィスのほか、展示やイベント用のエリアもあります。フルオープンなガラス・ファサードが内部と外部の空間を融合させ、発泡アルミニウムなどの革新的な素材が特別な雰囲気貢献しています。

Solution

採用されたのは、遮熱カーテンのGUARD（ガード）で、カーテンは建物の一部となり、開放的で透明性のある建築を完全に引き立てています。ガラスファサードとの美観を維持しながら、室内の快適性と機能性を高めています。カーテンの裏面にアルミ蒸着した生地は、外からの光による眩しさと熱を防ぎ、直射日光を防ぎながら自然光を取り込みます。

[遮熱カーテンを見る](#)

Object

Archive of the Future, Lichtenfels, Germany

Concept

PETER HAIMERL . ARCHITEKTUR, strukturdesign
Ingenieurgesellschaft im Bauwesen GmbH |
John GmbH, Sylvie Krüger (textile artist)

Photos

sebastian kolm architektur fotografie



商品



GUARD IV -285

Art.-No: 0101995

商品カテゴリー: レース/ケースメント

色数: 6

組成: 100% 難燃ポリエステル (Trevira cs)

生地幅: 285 cm

特記事項: 縦使い・横使い可

重さ: 123 g/m²

耐光堅牢度: 5